

ヴァイオリン アドバイザー



打保 早紀

岐阜県高山市出身。高山西高等学校を経て、名古屋音楽大学音楽学部弦楽専攻卒業、及び同大学院研究科修了。

ハンガリー国立リスト音楽院ならびにフィンランド ロヒアにおけるマスタークラス修了、ガラコンサート出演。第 57 回全国植樹祭にて天皇皇后両陛下の御前で演奏。

2015 年に開催されたスピリットガーデンホール開館 10 周年記念演奏会では、ヴァイオリニスト後藤龍伸氏らと共に共演し、高い評価を得る。

これまでにヴァイオリンを長尾みはる、加藤瑞木、サバディ・ヴィルモシュの各氏、室内楽を林俊昭、後藤龍伸、エーデル・パール各氏に師事。

現在、MCF オーケストラとちぎ所属。ソロ、室内楽演奏活動の傍ら、後進のヴァイオリン指導にもあたっている。

宇都宮短期大学音楽科・同附属高等学校音楽科講師。

演奏へのこだわり

1. はじめに

皆さんは自分の演奏にどのような「こだわり」を持っていますか？プロの演奏家はもちろん、楽器職人もたくさんの「こだわり」があります。そんなたくさんのこだわりの中から、普段の練習だけでなく、コンサートホールでの演奏でも役立つアドバイスをしたいと思います。

2. 演奏中の姿勢

自分自身の演奏中の姿勢（フォーム）を意識したことがありますか？日本人と欧米人では骨格や体格が異なります。演奏する姿勢には、常に多くの「こだわり」が必要です。弦楽器では、右手（弓）の持ち方や操作の仕方、圧力の掛け方等は腕が長い人、短い人で異なります。基本動作として、ヴァイオリンの駒に対し弓を平行に動かすことを心掛けましょう。基本に忠実な動作こそ、楽器本来の綺麗な音色を奏でる近道ではないでしょうか。

次に楽器の構え方（ポジション）です。背中が不自然に曲がる、体の軸のズレ、楽器を構える位置・方向に違和感がある場合、良い音色が出ません。ヴァイオリンは演奏中の姿勢と楽器のポジションへの「こだわり」がとても大切です、常に正しい演奏フォームを心掛けましょう。



ヴァイオリン独奏の様子



留学地ハンガリーでの恩師

3. 呼吸法と立ち位置

皆さんは会話をする時、合唱をする時は必ず呼吸をしますよね。同じように、どの楽器を弾く時にも必ず呼吸をしていなければ美しい音は出せません。脱力する方法を活かし、無駄な力を抜き、自然体な呼吸で音を奏でることが最も理想的です。

また、呼吸法や上記の演奏姿勢とともに取り入れたいのが体幹トレーニング法です。楽器と体のバランスを確認するとともに、自然体なフォームから奏でる演奏を追求してみてもいいのではないでしょうか。

皆さんはコンサートホールでヴァイオリン独奏をする場合、どの位置に立って演奏しますか？伴奏者との距離も大切な「こだわり」です。独奏とアンサンブルでは演奏する位置が変わり、音響のバランスが変化することも覚えておきましょう。



ピアノ三重奏の仲間達との共演



弦楽四重奏の仲間達との共演



赤ちゃんを対象とした演奏会



益子焼の陶芸家とともに共演

4. まとめ

コンサートホールを独りで使用できる機会は大変貴重です。演奏中の姿勢、呼吸法、体幹、そして立ち位置や伴奏者との距離等を考慮しながら、是非、宇都宮短期大学須賀友正記念ホールの素晴らしい音響を体感してみてください。そして、皆さんの「こだわり」の演奏に役立てて下さい。



研修セミナーにて(フィンランド)



リスト音楽院の友人(ハンガリー)



バルトーク生家での独奏

(ハンガリー)



ハンガリー国立歌劇場にて



ALTOS VS IWASHIYA